

2022.9.2福祉体験学習

まなび支援センターあさひ学級

あさひ学級にて、ボランティア団体 きさらづ点訳の会にご協力をいただき「点字体験教室」を実施しました。

点字の仕組みや、身近にある点字の紹介、点字の読み方、書き方(打ち方)を教わりました。



点字を書くためには「点字器」「点筆」が必要です。

点字は点がもりあがった凸面を左から右に触れて読みます。書く時は反対に凹面にして右から左へと点を打ちます。

子どもたちはこの体験を通して、大切な文字である「点字」に興味を持ち、理解を深めることができたと思います。そして、他者を思いやり、支え合うことの大切さを学んでいただきました。

きさらづ点訳の会 講師の山口さん、乙幡さんありがとうございました。

1. ボランティアの紹介

きさらづ点訳の会…木更津市立図書館の視覚障がい者サービスの一環として発足

☆ 点字：視覚障がい者が主に指で触れて読んだり、書いたりする文字

墨字：視覚障がい者が主に目を使って読んだり、書いたりする文字

☆ 点訳：墨字で書かれたものを点字に表すこと。

墨訳：点字で書かれたものを墨字に表すこと。

☆ 主な活動

① 本の点訳 → 点訳図書は図書館が管理し、視覚障がい者の方に貸出し

されます。

② 生活に必要なカレンダーや電車・バスの時刻表、また、パンフレットや

CDの歌詞などの点訳

<点字図書の写真>



点字は視覚障がい者にとって
もっとも読み書きしやすい文字です。

・読書や学習など、いろいろな情報を得たり
選挙の投票や、各種試験の受験などにも認められている文字です。

☆ 今日「点字を読む」「点字を書く」の後に
点字の名刺を作りましょう。



名刺作りに挑戦しました。一字一字間違えていないか確かめながら真剣に文字を打ち、友達同士教え合ったりする姿が見られました。